

第7回

# 東海三県 小児在宅医療研究会

オンライン  
開催

参加無料

医療的ケアが必要な重症心身障がい児者等が在宅で生活を送る中、支援に関わる医療、福祉、保育、教育、行政等関係者等の支援のすそ野をひろげることを目指し、東海三県小児在宅医療研究会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマ

コロナ禍での新たな試み  
コロナ・災害・危機管理

日時

令和4年2月13日(日) 13:30~16:00

方法

Zoomウェビナーによるオンライン開催



## プログラム

### 開会あいさつ

13:30~13:35

堀 裕行 岐阜県健康福祉部長

### 基調講演

13:35~14:35

「医療的ケア児支援法を活用した高度医療的ケア児の学校受け入れの  
“一点突破全面展開”の提案」

座長：大西 秀典 岐阜大学大学院医学系研究科 小児在宅医療教育支援センター センター長

講師：田村 正徳 埼玉医科大学総合医療センター 小児科名誉教授兼客員教授  
佐久大学大学院看護学研究科 客員教授

### シンポジウム

14:45~15:55

<座長> 夏目 淳 名古屋大学大学院医学系研究科 障害児(者)医療学寄附講座 教授  
岩本 彰太郎 三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター センター長  
山本 崇裕 岐阜大学大学院医学系研究科 小児在宅医療教育支援センター 医師

<発表> 14:45~15:30

- ① 愛知県「在宅医療を受けていた小児の死亡について ~Child Death Reviewのデータから~」  
大野 敦子 豊田市こども発達センター 小児科医
- ② 三重県「医療的ケア地域ネットワークにおける災害に関する事例検討を通して」  
青木 哲也 三重県済生会明和病院 なでしこ 指導係長
- ③ 岐阜県「コロナ禍における小児訪問看護の実際 ~小児在宅移行支援と家族支援~」  
高橋 陽子 株式会社陽和彩 代表取締役(陽和彩訪問看護ステーション 管理者)

<総合討論> 15:30~15:55

### 閉会あいさつ

15:55~16:00

久保田 一生 岐阜大学大学院医学系研究科 小児在宅医療教育支援センター 医師

## 主催

愛知県、三重県、岐阜県、愛知県医療療育総合センター、名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座、三重大学医学部附属病院小児・AYAがんトータルケアセンター、岐阜大学大学院医学系研究科小児在宅医療教育支援センター

## 後援

愛知県医師会、愛知県小児科医会、愛知県歯科医師会、愛知県看護協会、愛知県在宅療養支援診療所連絡会、愛知県訪問看護ステーション協議会、愛知県歯科衛生士会、愛知県特別支援学校長会、三重県医師会、三重県小児科医会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、三重県病院協会、三重県作業療法士会、三重県理学療法士会、三重県言語聴覚士会、三重県特別支援学校長会、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会、岐阜県医師会、岐阜県小児科医会、岐阜県歯科医師会、岐阜県薬剤師会、岐阜県看護協会、岐阜県病院協会、岐阜県作業療法士会、岐阜県理学療法士会、岐阜県言語聴覚士会、岐阜県特別支援学校長会

お問い合わせ：岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 障がい児者医療推進係  
〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1 TEL.(058)272-8279 FAX.(058)278-2871